

長野県スキー連盟公認 第66回志賀高原少年スキー大会開催要項

主 催 山ノ内町体育協会
 主 管 志賀高原スキークラブ 志賀高原観光協会
 公 認 (公財)長野県スキー連盟
 後 援 長野県 長野県教育委員会 長野県中学校体育連盟 山ノ内町 山ノ内町教育委員会
 協 賛 北野建設株式会社 株式会社ドコモ CS長野支店 長野電鉄株式会社 長電バス株式会社
 信濃毎日新聞社 SBC信越放送 NBS長野放送 TSBテレビ信州 abn長野朝日放送
 北信ローカル・リフレ 山ノ内町観光連盟 志賀高原索道協会 山ノ内町商工会 志賀高原旅館組合

1 期 日 2023年3月22日(水) ～ 24日(金) P-1、P-2 アルペンレース
 3月24日(金) ～ 25日(土) 小・中学生クロスカントリー

2 場 所 アルペン：ジャイアントスキー場 加スカントリー：一の瀬クロスカントリーコース

3 種目・日程

期 日	種 目	時 刻	場 所	摘 要
3月22日(水)	キャプテンミーティング	16:00	志賀高原 総合会館 98	アルペン競技 (P-1、P-2)
3月23日(木)	P-1 ジャイアントスラローム		ジャイアント スキー場	
	P-2 ジャイアントスラローム			
3月24日(金)	P-2 スラローム			
3月23日(木)	小・中加スカントリー受付	14:00～16:00	志賀高原 総合会館 98	クロスカントリー競技
	キャプテンミーティング	16:00		
3月24日(金)	中学生男子5km		一の瀬 クロスカントリー コース	
	中学生女子3km	中学生男子に引続き		
	小学5.6年男子3km	中学生女子に引続き		
	小学5.6年女子3km	小学5.6年男子に引続き		
	小学3.4年男子3km	小学5.6年女子に引続き		
	小学3.4年女子3km	小学3.4年男子に引続き		
	小学1.2年男子1.5km	小学3.4年女子に引続き		
小学1.2年女子1.5km	小学1.2年男子に引続き			
3月25日(土)	中学生リレー3km×4人	9:30		(男2人・女2人混合)
	小学生リレー3km×4人	10:30		(メンバー6人まで)

* 各種目のスタート時間はチームキャプテンミーティングにて発表します。

各チームの代表者は必ず、チームキャプテンミーティングに出席してください。

*新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、開会式は行いません。

- 4 参加資格 (1) 所属学校長又は保護者の承諾がある者。
 (2) 競技ごとに定める学年に在籍している者（以下参照）
- | | | |
|----------|-----------|--------------------------------------|
| アルペン | P-1 | 2014年4月2日生～2016年4月1日生
(小学1.2年生) |
| | P-2 | 2012年4月2日生～2014年4月1日生
(小学3.4年生) |
| クロスカントリー | 小学1.2年生の部 | 2014年4月2日生～2016年4月1日生
(小学1.2年生) |
| | 小学3.4年生の部 | 2012年4月2日生～2014年4月1日生
(小学3.4年生) |
| | 小学5.6年生の部 | 2010年4月2日生～2012年4月1日生
(小学5.6年生) |
| | 中学生の部 | 2007年4月2日生～2010年4月1日生
(中学1.2.3年生) |
- (3) 責任者又は付添者が引率していること。
 (4) スポーツ傷害保険、又はこれに準ずる傷害保険に加入していること。
 (5) スキーにおける危険や防止法等を熟知（学習）していること。
 ※別添「スノースポーツ競技者の心得」を参照
- 5 参加人員の制限 リレー競技については、各学校2チーム以内とする。
 1チームの人数は、中学生、小学生とも男女各3名以内、計6名以内とする。
 ※リレー種目の申込が必要。
- 6 申込方法 (1) 申込締切 2023年3月1日（水）必着
 (2) 申込先 〒381-0498 長野県下高井郡山ノ内町大字平穏 3352-1
 教育委員会事務局 志賀高原少年スキー大会事務局宛
 TEL 0269-33-1102 / Email sports@town.yamanouchi.lg.jp
 (3) 申込方法 本大会所定様式によりメールまたは郵送にて申し込んでください。
 (3) 申込用紙 ・別紙様式により申し込む。
 ※学校別、男女別ごとに記入し、学校長又は責任者の承認を得ること。
 ・参加料振込確認票、振込が確認できるもの（振込通知書の写し等）を必ず添付してください。
 (4) 参加料 1人1種目 アルペン競技 P-1、P-2 レースは2,300円
 クロス競技 小学生2,300円、中学生2,800円
 リレー競技 小学生2,800円、中学生3,300円
 【振込先：ながの農業協同組合 志賀高原支所（普）6229409
 志賀少年スキー大会事務局 代表 田村 英則】
 (5) その他 申込みの不備、遅延申込み、FAXでの申込みは一切受け付けない。
 また、参加料の返金はしない

- 7 抽 選 2023年3月8日(水) 大会事務局において責任をもって行う。
- 8 表 彰 (1) 各種目第3位まで表彰状及び商品を授与し、6位まで表彰状を授与する。
(2) 表彰式は競技終了後、競技会場(ゴールエリア付近)で行う。
- 9 宿 泊 (1) 1泊2食付 税込8,900円(選手のみ) ※引率者及び帯同者は10,000円
※入湯税別
(2) 宿泊については、各学校・団体ごとに志賀高原観光協会の予約システムから申し込む。
(宿泊予約システム URL <https://resv.shigakogen.gr.jp/feature/shonenski2023/>)
志賀高原観光協会事務局 TEL 0269-34-2404)
- (3) 宿泊予約システム以外からの予約をした参加者については、競技の際スタートを認めないことがあります。
- 10 そ の 他 (1) 新型コロナウイルス感染症対策については別途定めるガイドラインによる。
本大会における新型コロナウイルス感染症ガイドラインを理解できない者については、大会への参加を認めない。
(2) アルペン競技出場者はヘルメットを着用のこと。
(3) リフト券は個人負担とする。
(4) クロスカントリー5km、3km、1.5km 競技はクラシカルテクニック、リレー競技はフリーテクニックとする。
(5) アルペン同順位の場合は、スタート順序の後走者を優位とする。
(6) 競技規則は、本大会に定められているものの他、全日本スキー連盟競技規則(最新版)による。

第66回志賀高原少年スキー大会（アルペン）参加申込書 兼 出場許可書

出場種目 (該当ヶ所に○)	男子・女子	アルペン (P-1・P-2)			
チーム内 ランキング	ふり 氏	がな 名	学 年	生年月日 (西暦)	摘要
				年 月 日	
				年 月 日	
				年 月 日	
				年 月 日	
				年 月 日	
				年 月 日	
				年 月 日	
				年 月 日	
				年 月 日	
				年 月 日	

学校名 _____ 都道府県 _____ 学校 _____

所在地 〒 _____

_____ 市・郡 _____

連絡先 TEL _____ FAX _____

大会中滞在期間 3月 _____ 日から 3月 _____ 日 ・ 宿泊先 _____

記入上の注意

1. 必ず学校別にて申込むこと。
2. 参加申込書兼出場許可書の他、参加料振込確認表も必ず提出すること。
3. 種目、学年ごとに参加申込書兼出場許可書を作成すること。(男女別)
低い学年から記入し、種目ごとにランクを記入すること。(ランク上位の選手から記入)
4. 10名を超える場合は用紙をコピーすること。

出 場 許 可

左記の生徒について、標記大会に参加することを保護者が同意しており、また、心身の発達段階からみて、意義のある大会と認めますので出場を許可します。
また、大会参加にあたっての健康管理は自己（学校長又は保護者）の責任において行い主催者側に対して一切迷惑をかけません。

令和4年 _____ 月 _____ 日

(該当ヶ所に○) 学校長・責任者 氏名 _____ 印

申 込 み 責 任 者

令和4年 _____ 月 _____ 日

責任者氏名 _____

住 所 〒 _____

_____ 市・郡 _____

連絡先 携帯 _____ FAX _____

各項目は楷書で正確に記入してください。(間違いのある場合は受付できません)
YH-1・K-2競技は別様式です。(全日本スキー連盟指定の様式)

第66回志賀高原少年スキー大会（クロス） 参加申込書 兼 出場許可書

出場種目 (該当ヶ所に○)	小学生	男子	・クロスカントリー (小学生は1.2年・3.4年・5.6年ごと) ・リレー Aチーム・Bチーム			学校名	都道府県	学校
	中学生	女子				所在地 〒	—	市・郡
ランク	ふり 氏	がな 名	学年	生年月日	摘要	連絡先 TEL	FAX	
				H 年 月 日		大会中滞在期間 3月 日から 3月 日 ・ 宿泊先		
				H 年 月 日		記入上の注意		
				H 年 月 日		1. <u>必ず学校別にて申込むこと。</u> 2. 参加申込書兼出場許可書の他、参加料振込確認表も必ず提出すること。 3. 種目ごとに参加申込書兼出場許可書を作成すること。(男女別) <u>小学生クロスカントリーは2学年ごとに、ランクを記入すること。</u> (1枚の用紙に2学年毎に分けて全学年分記入も可) <u>ランク上位の選手から記入</u> <u>をすること。</u> ※従来お願いしていた個人申込書は不要といたしました。 4. リレーを2組申込む学校は別々の申込書を使用しA・Bチームを明記すること。 (選手が重複しないようにすること。1組のみの場合、Aに○をしない。)		
				H 年 月 日		出 場 許 可		
				H 年 月 日		左記の生徒について、標記大会に参加することを保護者が同意しており、また、 心身の発達段階からみて、意義のある大会と認めますので出場を許可します。 また、大会参加にあたっての健康管理は自己(学校長又は保護者)の責任において行 い主催者側に対して一切迷惑をかけません。		
				H 年 月 日		令和4年 月 日 (該当ヶ所に○) 学校長・責任者 氏名(自署) 印		
				H 年 月 日		<u>申込み責任者</u>		
				H 年 月 日		令和4年 月 日 責任者氏名		
				H 年 月 日		住 所 〒 — 市・郡 連絡先 携帯 FAX		

スノースポーツ競技者の心得

1. スノースポーツに内在する危険

スノースポーツには内在する以下の危険がある。

- ① 降雪・吹雪・降雨・濃霧など天候に伴う危険
※ホワイトアウト（天候の具合で雪面の高低や凹凸が分かりにくい状況）を含む
- ② 崖・急斜面・溝・沢など地形に伴う危険
- ③ アイスバーン・深雪・クレバス・雪崩など雪質や雪面の状態による危険
※ツリーウェル（樹木の傍に空いた深い穴）、ツリーホール（春先など雪解けにともない樹木のまわりに露出した地面）なども含む
- ④ 立木・切り株・茂み・岩石・露出した地表・水路など自然の障害物による危険
- ⑤ リフト支柱・人工降雪設備・標識・ロープ・マットなど人工の工作物との衝突による危険
- ⑥ 雪上車両との衝突の危険
- ⑦ スノーパークの利用に伴う危険
- ⑧ スキーヤーのスピードの出し過ぎによる危険
- ⑨ 自己転倒による危険
- ⑩ 他のスキーヤーとの衝突による危険
- ⑪ 疲労・飲酒・薬物・体調不良による危険
- ⑫ 不適切な用具の使用などによる危険
- ⑬ その他、これらに類する危険

2 スキーヤーの責務

1 滑走にあたって

- (1) スキーヤーはスノースポーツに内在する危険を予測し、危険を回避しながら滑走しなければならない。
- (2) スキーヤーは常に視界のおよぶ範囲内で動き、いつでも止まったり曲がったりできなければならない。

2 リフト搭乗にあたって

- (1) リフト搭乗者とは、リフトに搭乗しているスキーヤーだけではなく、搭乗するために待機しているスキーヤーや搭乗し終えたばかりのスキーヤーを含む。
- (2) リフト搭乗者は、掲示板の注意書等を読み、これに従って搭乗しなければならない。

- (3) 搭乗に不安を感じるスキーヤーは、その旨を係員に申し出て、必要な援助を得なければならない。

3 標識・指示の遵守

- (1) スキーヤーは、スキー場にある標識・掲示や場内放送、コースマップに記載されている注意書・警告、パトロール等スキー場係員の指示に従って行動しなければならない。

4 禁止行為

スキーヤーは以下の行為をしてはならない。

- ① コース外を滑走すること
- ② 閉鎖中のコースに立ち入ったり、滑走したりすること
- ③ 立木・リフト支柱・人工降雪設備・ネット・ロープ・マットなどの間近を滑走すること
- ④ 他のスキーヤーの間近を滑走すること
- ⑤ 他のスキーヤーの滑走を妨げること
- ⑥ 圧雪車(ゲレンデ整備車)を含む全ての雪上車両に近づくこと
- ⑦ リフトの運行を妨げること
- ⑧ 飲酒や薬物等の影響により、心身が正常でない状態で滑走すること
- ⑨ 長時間コース内で立ち止まったり座り込んだりすること
- ⑩ その他、これらに類する行為

5 徐行義務

スキーヤーは、以下の状況の下では徐行しなければならない。

- ① 徐行の標識があるところ
- ② 地形や障害物で、前方が見えにくいところ
- ③ シーズン初めや春先など積雪が十分でないとき
- ④ 降雪・吹雪・濃霧・日没時などで視界が悪いとき
- ⑤ ホワイトアウト（天候の具合で雪面の高低や凹凸が分かりにくい状況）のとき
- ⑥ 立木・切り株・茂み・岩石・露出した地表・水路など自然の障害物に近づいたとき
- ⑦ リフト支柱・人工降雪設備・ネット・ロープ・マットなどの人工の工作物に近づいたとき
- ⑧ コースの合流地点やコースが狭いところ
- ⑨ コースの脇や末端に近づいたとき
- ⑩ リフトの乗り場や降り場に近づいたとき
- ⑪ コースが混雑しているとき
- ⑫ キッズエリア（子供用ゲレンデ）に近づいたとき

- ⑬ 業務のために出動しているパトロールや運行している雪上車両に近づいたとき
- ⑭ その他、徐行しないと危険な箇所を滑走するとき

6 滑走時の義務

- (1) 滑り出し・流入・横断のときは、上方からのスキーヤーを優先させる。
- (2) 滑走中は前方のスキーヤーの動向を注視し、前方のスキーヤーとの間に安全な距離を保つ。
- (3) ゲレンデ内で立ち止まって、登り・降りをするときは、コースの端を利用する。
- (4) 業務のために出動しているパトロールや運行している雪上車両があるときは、その運行を優先させ、進路を空けて停止または徐行する。
- (5) スキーヤーは流した滑走具で他の人に危害を与えないよう用具に流れ止めをつける。
- (6) 深雪を滑走する際には、万が一雪に埋まった場合に呼吸の確保が出来るように予めストックの手皮から手を外しておく。また、ツリーウェルに落ち込まないよう大木の間近を滑走しない。

7 スノーパーク利用上の義務

スノーパークの滑走者は次のことを守らなければならない。

- (1) 掲示板などの注意書に従う。
- (2) 自らの能力と技術の範囲内で滑走する。
- (3) 着地点の周囲の安全を確認してからスタートする。
- (4) ヘルメットその他必要な防具を着用する。

8 引率者・指導者の責務

- (1) 引率者・指導者とは、個人やグループまたは団体をスキー場に案内し、スキーヤーを指導・監督・介護する者をいう。
- (2) 引率者・指導者は、この基準に定めるルールを率先して守らなければならない。
- (3) 指導者は受講者に滑る技術を教えるだけでなく、この基準に定めるルールおよび安全に滑走する方法も指導しなければならない。
- (4) 指導にあたっては天候や雪質・コースの状況等を考慮したうえ、受講者に不適切な課題を課して、雪崩などの重大な危険に遭わせてはならない。

9 受講者の責務

- (1) 受講者はスキー場において他のスキーヤーに対して何の優先権も持たない。
- (2) 受講者は引率者・指導者の指示や注意に従うだけでなく、自らこの基準が定めるルールを守って行動しなければならない。

10 子供の保護者・付添人の責務

- (1) 保護者・付添人は子供の能力を見極め、子供を危険に遭わせてはならない。
- (2) 保護者・付添人は子供に対して、スキー場で守るべきルールについて教えなければならない。

11 競技者

- (1) 競技者とは、現に競技に参加しているスキーヤーだけでなく、競技に参加するために練習をしているスキーヤーや競技前の足慣らしをしているスキーヤーも含む。

12 救助義務

- (1) 事故が起きた場合、全てのスキーヤーは事故者を援助しなければならない。
- (2) 事故の当事者および目撃者は、速やかに事故の発生状況をパトロール員などスキー場係員に通報するとともに、怪我人の救助に協力しなければならない。
- (3) 事故の当事者および目撃者は、パトロール員などスキー場係員や当事者の求めに応じて、事故状況および氏名・連絡先などを正確に伝えなければならない。

13 搜索費用の負担

スキーヤーがスキー場管理者の規制を無視してコース外や管理区域外に出て遭難したときは、スキーヤーは搜索および救助に要した費用を負担しなければならない。

14 ヘルメット・帽子の着用

- (1) スキーヤーはヘルメット・スキー帽を着用することが望ましい。
- (2) アルペン競技者（練習中も含む）はヘルメットを着用しなければならない。

15 保険加入の勧め

スキーヤーは事故に備えて、あらかじめ傷害保険等に参加しておくこと。

第 56 回全日本スキー連盟公認甲信越
ブロック連合中学校・ユーススキー競技会
兼 第 66 回志賀高原少年スキー大会

新型コロナウイルス感染症
感染対策ガイドライン

作 成 日：令和 2 年 1 2 月 1 7 日
最終更新日：令和 4 年 1 1 月 2 9 日

全日本スキー連盟公認甲信越ブロック
連合中学校・ユーススキー競技会 兼
志賀高原少年スキー大会組織委員会

1 基本事項

(1) はじめに

新型コロナウイルス感染症の国内の現状は、感染状況等を継続的に注視するとともに、「新しい生活様式（三密の回避・対人距離の確保・マスクの着用・手指衛生）」を社会に定着させているところである。

しかしながら、再度、感染が拡大する可能性はあり、新規感染者数の増大に対応できる体制づくり（医療提供体制の維持・検査(保健所)体制の強化・クラスター対策の強化等）が重要とされている。

このような状況下で、競技会を運営するためには、選手・保護者・指導者・競技役員全ての方の理解と協力が必要となり、一人ひとりの自覚と責任が自己防衛となるため、すべての人が感染防止に努めたいうえで、競技会へ参加する必要がある。

(2) 新型コロナウイルス感染症の基本事項

新型コロナウイルス感染症の感染経路は、①飛沫感染、②接触感染であるため、以上2つの経路の感染予防策を徹底する。

●飛沫感染予防

- ・選手、スタッフは原則マスクを着用する。
- ・咳エチケットを徹底する。
- ・人と人が対面する場所では可能であれば、パーテーション等を設置する。
- ・飛沫は空気中を漂わず、空気中で短距離（1～2m）しか到達しないため、対人距離（1～2m四方）を確保する。

●接触感染予防

- ・流水と石鹸による手洗い、擦式アルコール消毒液（アルコール濃度60%～80%）による手指衛生の励行。
- ・アルコールや抗ウイルス作用のある消毒剤含浸クロス（アルコール濃度60%～80%）にて、手袋・マスク着用の元、テーブル、ドアノブなど高頻度接触部位の清拭消毒を行う。

なお、本ガイドラインは新型コロナウイルス感染症の科学的知見の更新や国内の感染状況の変化により逐次見直すことがある。

本ガイドラインはSAJ競技会の発表する新型コロナウイルス感染対策ガイドライン（第1版）に準ずる。

2 大会開催の前提条件

(1) 緊急事態宣言が解除されている。

- ・移動の制限が解除されている。
- ・不要不急の外出自粛が解除されている。
- ・店舗営業の自粛が解除されている。
- ・学校において部活動が認められている。

(2) 大会開催を管轄する大会実行組織委員会、山ノ内町及び地域管轄保健所（長野県北信保健所）によりイベント開催の自粛が解除されている。

3 大会参加者の遵守事項

(1) 参加者へは、大会の2週間前から大会当日までの間に下記事項に該当する場合は参加の見合わせを求める場合がある。

- ・発熱（37.5℃以上）を認める。
- ・せき、のどの痛みなど風邪の症状がある。
- ・だるさ（倦怠感）や息苦しさ（呼吸困難）がある。
- ・嗅覚や味覚の異常がある。
- ・体が重く感じる、疲れやすい等の症状がある。
- ・新型コロナウイルス感染者と濃厚接触歴がある。
- ・同居家族や身近な知人に新型コロナウイルス感染症と疑われる方がいる。
- ・参加の14日前までに政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航歴がある、または当該在住者との濃厚接触歴がある。

(2) 参加者においては下記書類を必要に応じ提出する。

- ・健康管理記録表（別紙1）：大会2週間前より参加者が個人ごとに記入し、大家事務局より提出を求められた際に提出する。
- ・緊急患者発生報告書（別紙2）：大会期間中に傷病者等が発生した場合に、大会事務局へ提出する。

※参加者：大会参加する選手及び選手へ帯同する指導者（監督・コーチ等）、現地にて大会観戦をする者

(3) 参加料は口座振込とする。

4 開催行事等に関する対策事項

(1) 総務・式典

- ・式典に関しては、最小限の人数で、短時間で終了させる。
- ・飲食を伴う会議、反省会等は原則として行わない。
- ・大会に参加する選手、指導者、学校関係者の連絡先（氏名・住所・電話番号）を記録し、大会後1か月間は保管する。
- ・大会終了後14日以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、大会組織委員会事務局に対して速やかに自身の感染報告とともに濃厚接触者の有無等について報告する。
- ・その他、総務、式典の運営に際し必要な措置を講ずる。

(2) 競技運営

- ・チームキャプテンミーティングは原則各チーム代表者1名の参加とし、短時間で済ませるようにする。
- ・ドローについても原則各チーム代表者1名の参加で、短時間で済ませるようにし、各チーム代表者は翌日の競技者の使用するビブスを持ち帰る。
- ・競技スタッフ、監督、チームスタッフは全員マスクを着用する。
- ・競技時以外は選手についても原則マスクを着用する。(防寒・防風のためのマスクを着用している場合はそれでも可)
- ・大会観戦については、1～2mの対人距離を取り、密とならないようにする。
- ・リフトやゴンドラに乗車する際は、対面での会話は控える。
- ・報道関係者は、事前に申請があり許可を出した者のみとし、当日参加する報道関係者の連絡先(氏名・住所・電話番号)を記録する。
- ・その他、競技の運営に際し必要な措置を講ずる。

(3) 報道、記録

- ・選手への取材は双方マスクを着用し、ソーシャルディスタンスを保ち短時間で済ませる。
- ・共有マイクは、都度清拭消毒する。
- ・その他、報道、記録に際し必要な措置を講ずる。

(4) 宿泊

- ・宿泊予約については、志賀高原観光協会の宿泊予約システムから行う。
- ・宿泊者の個人情報、感染報告があった場合に保健所・医療機関等へ提供する可能性がある。
- ・志賀高原旅館組合、志賀高原観光協会等の宿泊ガイドラインに沿った措置を講ずる。

(5) 交通、施設

- ・各競技会場までの輸送者数は最小限とし、少人数での乗合を勧める。
- ・レースオフィスでは、1～2mの対人距離での行動を心がけ、入場者の連絡先(氏名、住所、電話番号)を記録する。
- ・施設の出入口に擦式アルコール消毒液を用意し、移動の前後での手指消毒を行う。
- ・その他、交通、施設の運営に際し必要な措置を講ずる。

(6) 競技時の対応

- ・スタート、ゴール地点が密にならないよう1～2m対人距離を保つ。監督、指導者は大声での指導や、近距離での会話は避ける。
- ・ゴール後ハイタッチ等の接触は行わない。

5 新型コロナウイルス感染症感染者発生時の対策事項

(1) 感染が疑われる症状が出た者への対応

- ・大会会場地区が含まれる保健所（北信保健福祉事務所）へ連絡。
- ・保健所の指示に従い病院受診、または宿舎待機。

(2) 濃厚接触者と接触者のリストアップ

- ・リストアップを実施し、必要に応じ濃厚接触者と接触者の情報（氏名・住所・電話番号等）を保健所へ提供する。

(3) 濃厚接触者と接触者の健康観察

- ・濃厚接触者、接触者のそれぞれの居住地の保健所が、健康観察及び検査や受診の指示を担う。

(4) 施設の閉鎖、消毒

- ・クラスター発生の有無などを踏まえて保健所からの指示に従い対応する。

【連絡先】

- ・全日本スキー連盟公認甲信越ブロック連合中学校・ユーススキー競技会 兼 志賀高原少年スキー大会組織委員会事務局（担当：田村・青木）

TEL：0269-33-1102 FAX：0269-33-4355 mail：sports@town.yamanouchi.lg.jp

住所：381-0498 長野県下高井郡山ノ内町大字平穏 3352-1 山ノ内町教育委員会内